

Subject : **Japanese**

Production of Courseware
 - Content for Post Graduate Courses

Paper No. **02** : **日本語学 (Japanese Linguistics)**

Module **21** : **名詞修飾 (連体修飾) 表現**
(Noun Modification (Adnominal Modification) Expressions)



Development Team

Principal Investigator:

Prof. Anita Khanna

Jawaharlal Nehru University, New Delhi

Paper Coordinator:

Prof. Prashant Pardeshi

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Writer:

Prof. Prashant Pardeshi

The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Reviewer:

Prof. Kaoru Horie


Nagoya University

Japanese

Japanese Linguistics

名詞修飾 (連体修飾) 表現 (Noun Modification (Adnominal Modification) Expressions)

Description of Module	
Subject Name	Japanese
Paper Name	日本語学 (Japanese Linguistics)
Module Title	名詞修飾 (連体修飾) 表現 (Noun Modification (Adnominal Modification) Expressions)
Module ID	JPN-P02-M21
Quadrant 1	E-Text

 **Pathshala**
पाठशाला
A Gateway to All Post Graduate Courses

Japanese

Japanese Linguistics

名詞修飾 (連体修飾) 表現 (Noun Modification (Adnominal Modification) Expressions)

めいししゅうしょく れんたいしゅうしょく ひょうげん 名詞修飾（連体修飾）表現

もくてき もくてき にほんご めいししゅうしょく れんたいしゅうしょく ひょうげん とくちょう
目的：このモジュールの目的は、日本語の名詞修飾（連体修飾）表現の特徴を
しょうかい
紹介することである。

めいししゅうしょく れんたいしゅうしょく ひょうげん 1. 名詞修飾（連体修飾）表現とは

ひと ほん りょうり めいし たいげん しじたいしょう ひじょう ひろ よ
「人」，「本」，「料理」のような名詞（体言）はその指示対象が非常に広く，世
なか ひと ほん りょうり さ い か れい しめ めいし
の中のありとあらゆる「人」，「本」，「料理」を指す。以下の例で示すように，名詞
たいげん ご く せつ くわ しじはんい げんてい とくてい ないよう くわ
（体言）は語や句や節を加えることによって，指示範囲を限定・特定し，その内容を詳
せつめい しゅうしょく しゅるい めいししゅうしょく げんていき
しく説明する。つまり，修飾することができる。この種類の名詞修飾は限定的な
しゅうしょく ご く せつ めいし しゅうしょく れんたいしゅうしょく い か
修飾という。語や句や節が名詞を修飾することを「連体修飾」という。以下，
ぐたいてき れい み
具体的な例を見てみよう。

● ご れんたいしゅうしょく れんたいしゅうしょくご 語による連体修飾（連体修飾語）

しじご しじし れんたいし つか しゅうしょく ひと ほん
指示語・指示詞（連体詞）を使って修飾する：この人，あの本

けいようし つか しゅうしょく おもしろ ほん じよせい
形容詞を使って修飾する：面白い本，きれいな女性

どうし つか しゅうしょく や じよせい わす できごと
動詞を使って修飾する：痩せている女性，忘れられない出来事

- く れんたいしゅうしょく れんたいしゅうしょくく
句による連体修飾（連体修飾句）

はは てがみ とつぜん し
母からの手紙，突然の知らせ

- せつ れんたいしゅうしょく れんたいしゅうしょくせつ
節による連体修飾（連体修飾節）

さいきんわだいほんともだちかほんあたまほん
最近話題となっている本，友達から借りた本，頭がよくなる本，

よるひとりいほんたたおともだちかねかうわさ
夜一人でトイレに行けなくなる本，ドアを叩く音，友達からお金を借りた噂

いっぼうしょうじゅしょうめいし たいげん し じ はんい
一方，「ノーベル賞を受賞したタゴール」のように，名詞（体言）の指示範囲を

げんていとうがいめいし たいげん じょうほう ふか ひげんていてき
限定せず，当該名詞（体言）になんらかの情報を付加する，いわば，非限定的な

しゅうしょくほうほう
修飾方法もある。

せつ れんたいしゅうしょく れんたいしゅうしょくせつ めいししゅうしょく れんたいしゅうしょく
このモジュールでは節による連体修飾（連体修飾節）を名詞修飾（連体修飾）

ひょうげん しょう にほんご めいし しゅうしょくひょうげん けいしきてき とくちょう かくにん うえ
表現と称し，日本語の名詞修飾表現の形式的な特徴を確認した上で，

れんたいしゅうしょくぶ どうし ふく つぎ しゅるい めいししゅうしょくひょうげん しょうてん かいせつ
連体修飾部に動詞が含まれている次の2種類の名詞修飾表現に焦点をあて解説する。

① うち かんけい めいししゅうしょくひょうげん れい ともだち か ほん
内の関係の名詞修飾表現（例：「{友達から借りた}本」）

② そと かんけい めいししゅうしょくひょうげん れい たた おと
外の関係の名詞修飾表現（例：「ドアを叩く音」）

2. 日本語の名詞修飾表現の形式的な特徴

まず、日本語の名詞修飾表現の形式的な特徴を見てみよう。日本語はインドの

言語（カシミリ語を除く）と同様、SOV（主語－目的語－動詞）語順型の言語であるため、

連体修飾部が修飾される名詞（被修飾名詞）の前に現れる（例：友達から借

りた本）。一方、英語はSVO（主語－動詞－目的語）語順型の言語であるため、

連体修飾部が被修飾名詞の後ろに現れる「the book {which/that/∅} I borrowed from my

friend」また、英語ではwhichのような関係代名詞（relative pronoun）やthatのような

関係節標識（relativizer）が使われるが、日本語の場合は名詞（連体）修飾を示す

特別な形式はない。

また、日本語の名詞修飾表現において、連体修飾部中の「が」格（例：太郎が

読んだ本は面白い）は「の」と交替する（例：太郎の読んだ本は面白い）ことがある。

次に、日本語の名詞修飾表現の種類を見てみよう。

3. 日本語における内の関係および外の関係の名詞修飾表現

以下の例 (1) の文から (2), (3), (4) にあるような名詞修飾表現が作れる。

- (1) 鈴木さんが 友達から 本を 借りた。
- (2) ∅ 友達から 本を 借りた 鈴木さん
- (3) 鈴木さんが ∅ 本を 借りた 友達
- (4) 鈴木さんが 友達から ∅ 借りた 本

例 (2) ~ (4) の名詞修飾表現において、被修飾名詞である「鈴木さん」、「友達」、

「本」は修飾部の述語である「借りる」とそれぞれ「ガ格」、「カラ格」、「ヲ格」

の関係によって結ばれている。このような被修飾名詞が修飾部の述語と格関係で結ば

れている名詞修飾表現を「内の関係の名詞修飾表現」と呼ぶ。

また、同じく (1) の例から以下の (5) ~ (6) のような名詞修飾表現も作れる。

- (5) 鈴木さんが 友達から 本を 借りた という/との 噂
- (6) 鈴木さんが 友達から 本を 借りた 理由

(5) ~ (6) のような名詞修飾表現において、「噂」，「理由」といった被修飾名詞は

修飾部の述語と格関係で結ばれておらず，被修飾名詞はどの格助詞を用いても (1) の

例文に入れることができない。このような名詞修飾表現を「外の関係の

名詞修飾表現」と呼ぶ。このように，日本語の名詞修飾表現は内関係と外関係

の2種類に分けられる。この分類は寺村秀夫氏によって提案されたものであり，以下の

(7) は (寺村1992: 196 ; 一部字句修正) からの有名な例である。

(7) 内関係 (a) [さんまを焼く] 男 ← (a') 男がさんまを焼く。

外関係 (b) [さんまを焼く] 匂い ← (b') (対応する独立文が存在しない)

寺村 (1992: 214) は内関係と外関係の中間的なものとして以下の例を示している。

(8) 頭 {が・の} よくなる本

この例文における修飾される名詞「本」はなんらかの格助詞をつけても前接の

連体修飾部に組み込むことはできない点において，外関係の名詞修飾表現に似て

いる。しかし，以下の例に示すように，格助詞に他の要素も加えると前接の

制限②：(1) のような通常の文には「か」、^{つうじょう}「よ」、^{ぶん}「ね」のような終助詞^{しゅうじょし}が使える

(例文 12) が、(2) ~ (4) のような内の関係^{うち かんけい}や (5) ~ (6) の外^{そと}の関係^{かんけい}の名詞修飾^{めいししゅうしょくひょうげん}表現^{ひょうげん}に

は「か」、^{しゅうじょし}「よ」、^{つか}「ね」のような終助詞^{しゅうじょし}が使えない (例文 (13)~(17))。

(12) ^{すずき}鈴木さんが ^{ともだち}友達から ^{ほん}本を ^か借りた {○か/○よ/○ね}。

(13) \emptyset ^{ともだち}友達から ^{ほん}本を ^か借りた {×か/×よ/×ね} ^{すずき}鈴木さん

(14) ^{すずき}鈴木さんが \emptyset ^{ほん}本を ^か借りた {×か/×よ/×ね} ^{ともだち}友達

(15) ^{すずき}鈴木さんが ^{ともだち}友達から \emptyset ^か借りた {×か/×よ/×ね} ^{ほん}本

(16) ^{すずき}鈴木さんが ^{ともだち}友達から ^{ほん}本を ^か借りた {×か/×よ/×ね} ^{うわさ}という/との噂

(17) ^{すずき}鈴木さんが ^{ともだち}友達から ^{ほん}本を ^か借りた {×か/×よ/×ね} ^{りゆう}理由

また、内の関係^{うち かんけい}や外^{そと}の関係^{かんけい}の名詞修飾^{めいししゅうしょくひょうげん}表現^{ひょうげん}では述語^{じゆつご}の丁寧体^{ていねいたい} (です、ます) や勧誘形^{かんゆうけい}も使えない。

(18) ^{すずき}鈴木さんが ^{ともだち}友達から \emptyset {○借りた/×借りました/×借りよう} ^{ほん}本

(19) ^{すずき}鈴木さんが ^{ともだち}友達から ^{ほん}本を {○借りる/×借りました/×借りよう} ^{りゆう}理由

4. 世界諸語から見た日本語の名詞修飾表現

日本語では「太るお菓子」，「痩せる温泉」のように被修飾名詞と修飾部の間の意味関係が明示されなくてもよい短絡の関係のタイプや「ドアを叩く音」，「友達からお金を借りた噂」のような外の関係タイプの名詞修飾表現が豊富である。しかし，インドの言語を始めとする世界の多くの言語では「太るお菓子」，「痩せる温泉」のようなコンパクトな名詞修飾表現が成立せず，より長い説明的な言い換えが必要となる。また，世界の多くの言語と違い，日本語では被修飾名詞と述語が格関係で結ばれていれば，(20)の例のように，被修飾名詞（犬）を述語（可愛がる）からかなり遠いところまで移動させることも可能である。

(20) [[[[\emptyset]_i可愛がっていた]人_iが亡くなった]犬_j]が毎晩駅まで飼い主を迎えに来た。

日本語の名詞修飾表現はその機能的な範囲が広く，統語的な制約よりはむしろ，意味・語用論的な制約によって規定されるという特徴がある。

5. まとめ

日本語の連体修飾表現に関する寺村秀夫氏の一連の研究（例：「最近話題となっている本」，「友達から借りた本」（内の関係，関係節），「夜一人でトイレに行けなくなる本」，「頭がよくなる本」，「太るお菓子」，「痩せる温泉」（短絡の関係，内の関係と外の関係の中間的なもの），「ドアを叩く音」，「友達からお金を借りた噂」（外の関係）を端緒として，日本語の名詞修飾表現の構造・機能的特徴が通言語的に関心を集めている。名詞修飾表現に関して，世界の多くの言語と比べてときに日本語は特異な言語であるか，それとも，日本語のような名詞修飾表現が他の言語でも頻繁に確認されるかは興味深い研究課題である。

キーワード：

名詞修飾（連体修飾）表現 限定的な修飾 非限定的な修飾 内の関係
 外の関係 短絡の関係
